

平成 30 年度一般社団法人日本カーシェアリング協会 事業報告書

平成 30 年度のテーマ：「復興期間終了」を力強く打開しよう。

< 重点事項 >

1. コミュニティ・カーシェア自立化の実現とプログラムの再構築
2. 地域おこしの輪を広げる
3. 寄付が集まる体制作り

事業期間 : 平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

平成 30 年度は、「復興期間終了」を力強く打開するために目いっぱい「あがいた」1 年でした。幸運にも様々な力強い協力を得ることができ、「『コミュニティ・カーシェアリング』導入サポートプログラム」が生まれ、他地域への展開が開始し、災害支援に関しても地域連携の元これまでにない大きな支援を行うことができました。あがいた結果、新たな方向性と打開策を見出すことができた大切な 1 年でした。

新規登録車両台数 : 90 台 (前年度比: 69 台増加)
車両活用法数 : 128 台 (前年度比: 34 台増加) ※期末数値比較
会 員 : 8 名 (前年度比: ± 0 名) ※正会員: 5、準会員: 3 名
賛 助 会 員 : 個人 14 名 企業 1 社 ※賛助館員定義変更のため前年度比無し
コミュニティ・カーシェアリング利用者 : 264 名 (前年度比: 87 名増加)
ソーシャル・カーサポート サポート件数 : 1,079 件 (前年度比: 485 件増)

■ コミュニティ・サポート事業部

活動に参加される会員が主体性をもって無理なく自立運営できるよう、各カーシェア会に合ったサポートを行い、また活動の中で会員同士の交流を大切にするため、様々な交流の機会を作りました。目標に掲げていたカーシェア会の自立は実現できなかつたものの、その実現に向けて会員同士の役割分担や買い物ツアーやお出かけの企画のレギュラー化など確実に前進させることができ、全体としての会の活動量は大幅に増加しました。市内のカーシェア会のサポートに加え、導入プログラムの開発を行い、これまで目標として掲げていた石巻で作り上げた『雛形』を他の地域で広めることに着手することができました。

1. カーシェアリング・コミュニティサポート事業

(1) 石巻市内のカーシェア会立ち上げと運営サポート

委託: 石巻市生活再建支援課

助成: 東日本大震災現地 NPO 応援基金(特定助成)JTNPO 応援プロジェクト、みやぎ地域復興支援助成金、

石巻市コミュニティづくり支援補助金

石巻市内で新規 2 箇所のカーシェア会を設立することが出来ました。導入の段階で団地会長や町内会長と繋がり、協力者としてカーシェア会に関わってくださることによって、より地域の状況を知ることが出来ました。また他の地域支援団体と連携し行った導入前のアンケート調査では、力強

い協力を頂きました。

既存のカーシェア会については、今年度は会員同士の親睦を深めるために交流機会（お茶っこ会・お出かけ企画・買い物ツアーなど）を増やしました。これにより会員同士の助け合いや、協力する姿みられ、少しずつ活動に主体的にかかわるきっかけになったと思います。完全自立化には及びませんでした。お出かけ企画を会員だけで完結する等前進することが出来ました。

カーシェア会 新規設立 : 2箇所（大門町・新立野）

サポートしたカーシェア会 : 9箇所（上記2箇所含む）

カーシェア会 会員 : 264名（前年度比：87名増加・67%増加）

平均年齢 : 73歳（昨年より1歳向上）

アンケート : 9箇所実施（吉野町・新西前沼・門脇・中央・不動町・渡波・三ツ股・大門町・新立野）

カーシェア会 主催の旅行 : 39回実施（前年度比：10件増・74%増加）

説明会 : 2回（大門町・新立野）実施（前年度比：±0件・増減0%）

収支報告の会・利用者お茶っこミーティング : 63回実施（前年度比：32件増加・49%増加）

（2）『コミュニティ・カーシェアリング』のプログラム化と他地域展開

〔専門家伴走支援：ハンズオン支援事業（復興庁）〕

専門家の伴走支援の元、『コミュニティ・カーシェアリング』のプログラム化を行い導入サポートプログラムを作り上げることができました。結果、岡山県内2箇所で導入が開始したことをはじめ、様々な地域から関心を寄せていただき来年度も複数の地域での導入が予定されるようになりました。

2. 石巻エコEVカーシェアリング事業

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会運営

行政・教育機関・関係者らで構成する検討委員会メンバーらでモデル化や政策連携を目指す定例会議を行いました。今年度は、委託が終了する平成31年度以降の政策的な連携についてより具体的な協議を行い、福祉・地域包括ケアの分野における事業連携についてはほぼ実施の方向で調整を進めることができました。また、防災に関しては後述する災害時における相互応援協定の締結が実現し、介護の分野での連携についての協議も開始させることができました。

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会定例会議開催 : 2回

市長報告 : 1回

■ ソーシャル・カーサポート事業

本事業部では、寄付していただいた車を活用して、社会貢献と収益を両立させること念頭におき活動しました。年度初めには12か月間での数値目標を掲げていましたが、前回の総会にて事業年度が1月~12月に変更となり、今期は9か月間となったため、目標値に届いてはおりません。しかし、各事業において2019年度に芽吹くであろう、種を蒔くことができました。

1. レンタカー事業

（1）

今年度は貸出件数・収入に共に減収となりました。事業期間が9か月間だったことと、前年度売り上げの約3分の1を占めたReborn-Art-Festivalの本祭がない裏年であり、それを賄う十分な対策を打

つことができなかつたことが挙げられます。(災害支援に同事業部が従事することとなり十分な時間を充てることができなかつたことがその要因です) 一方でよい動きも生まれています。石巻市公式の観光ガイドブックにレンタカー事業者として唯一掲載されました。また、市観光課、観光ボランティア協会から二次交通希望の方へ弊協会を紹介していただける関係を築くことができました。その他、市内の宿泊事業者とタイアップし、宿泊施設をレンタカー営業所として登録して、宿泊者の足を確保するカーシェアリング事業が開始しています。本件実施に当たり、復興庁ハンズオン支援事業の一環で復興庁の方にご協力いただきました。牡鹿・雄勝・北上の商店とタイアップしたキャッシュバック企画である地域おこしレンタカーは件数こそ伸び悩んだものの、ご利用者のアンケートでは「スタンプのやりとりを通じて地域の方とお話できた」、「牡鹿へ行くきっかけとなった」など高い評価をいただいています。

2019年度は石巻市でReborn-Art-Festivalの本祭が開催されます。RAF事務局と密に連携し、運営や参加者がスムーズに移動できるように車の募集や仕組みを構築していきます。

貸出件数 : 407件 (達成率: 90.4%* 対前年比: 40件減少 8.4%減少)

*当初(12ヵ月)目標は600件 本達成率は12月時点(9ヵ月間)の目標値に対しての達成率を指す

(2) コミュニティ活動サポートレンタカー (大型車無料貸出)

集約拠点団地を中心とする仮設住宅にて、新しく引越してきた方々との交流や再建が進まない方々の心のケアのための催し物用に大型車両の貸出しを行いました。他の支援団体とも連携を行い、サロン活動の場でサポートの案内を定期的に行いましたが、後半は仮設でのサロン活動を行う場も縮小となり、掲示板のみでの案内となりました。利用件数も1件のみとなり、仮設から復興公営住宅や自立再建への進みが感じられました。

利用件数: 1件 (大橋仮設) (前年度比: 6件減少) ※復興公営住宅での利用: 39回

(3) 引越サポートレンタカー (仮設からの引越サポート)

仮設住宅から再建先へ引越する方へはカンパ金のみで軽トラを貸出すサポートを行いました。昨年より利用件数は減少したものの、時期によっては稼働が月9回を超えるなど仮設の集約の動きに合わせてニーズがまだあることが分かりました。

サポート件数 : 25件 (前年度比: 8件減少)

(4) 生活再建のためのサポートレンタカー

生活を立て直していただくため、3ヵ月毎に料金がステップアップする仕組みのサポート・レンタカーの貸出しと広報を行いました。

サポート人数 : 1名 (前年度比: 増減なし)

※(2)～(4)は石巻市生活再建支援課からの委託事業として実施致しました。

2. リース事業

石巻在住者や支援団体、平成30年7月豪雨で被災された団体や現地で活動する非営利団体へ向けて車の貸出しを行いました。石巻で5件、豪雨関連で17件の新規リース契約を締結しました。岡山では災害を機に新たな団体や部署が立ち上がりその事業のために車を使いたいとの理由で借りている団体が複数あります。長いスパンでの事業になる模様のため、寄付いただいた車が現地の復興の役に立つことができる見込みで、大変うれしく思います。

一方でNPOの事業縮小や高齢による免許返納などといった理由での解約も一定数発生しています。

それ以外に 2016 年に発災した熊本地震の際にリースに移行した方々は概ね解約となりました。災害支援でリースしていただいた車については長くても 3 年程度で返却されるものとして、新たな車の利用者の開拓を進めていくことが必要だと考えています。

その他、利用者へのヒアリングを行い、次年度以降今まで以上に多くの方にご利用いただけるようなプログラムにリニューアルするべく準備を進めています。

契約件数 : 43 件 (達成率: 86% 対前年比: 13 件増加 43.3%増加)

3. 損害保険事業

今年度は東京海上日動社との連携を強めていくことを念頭に、自動車保険を中心とした契約件数を増やしつつ、自己特定契約比率を改善していくことを目指しました。昨年のような事務所増築作業に伴う傷害保険の契約がなかったため、件数こそ減りましたが全体の収入保険料規模は対前年比 1.5 倍と拡大しました。また、自己特定比率は 11 月末時点で 9%と対前年比 10%改善されています。その他、東京海上日動石巻 S C との連携強化として、修理・整備時の工賃を割引していただける提携工場の紹介をいただくなど致しました。

今後の動きについてですが、非営利団体のスタッフから保険について相談できる人がいない、対応できる保険がないとのご相談を受けることがありました。そこで、NPO の保険開発へ向けた協議を東京海上日動社と進めています。また、宮城県中央共同募金会と協働した寄付付き自賠責保険の販売へ向けて準備を行っています。

契約件数 : 20 件 (自動車保険: 14 件 自賠責保険: 4 件: 火災保険 2 件 新種保険: 0 件
前年度比: 24.6%増加)

■ モビリティ・レジリエンス事業

これまでソーシャル・カーサポート事業部の一つの事業として展開してきた災害支援事業について、平成 30 年 7 月豪雨支援に取り組む中で、そのテーマにしっかり向き合うことを決断し「災害時に車で困らない社会づくり」を目指す『モビリティ・レジリエンス事業部』を新たに新設し取り組むこととなりました。災害時の対応に加えて、それに備える地域連携作りを進めてまいりました。

1. 平成 30 年 7 月豪雨支援

助成金: 日本財団「平成 30 年 7 月豪雨 NPO・ボランティア活動支援」、中央共同募金会「平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティア・NPO 活動サポート基金」、日本 NPO センター「マツダ・移動支援団体応援プログラム」

活動期間: 7/8~12/25

6 月末から 7 月上旬にかけて西日本の広い範囲を襲った平成 30 年 7 月豪雨で、特に被害が大きかった岡山県倉敷市真備町、愛媛県西予市野村町において車の無償貸し出し支援を実施しました。98 台の車を活用し、延べ 629 件の無償貸し出しを実施しました。今回、2 箇所まで今までにない連携のもと支援活動を実施しました。真備町では岡山県・倉敷市と連携し、公共施設と駐車場を提供していただき、貸出の拠点を設置することができました。それにとどまらず、県内の自販連・軽自動車協会へ車の提供協力を呼び掛けていただきました。その甲斐あって、県内の自動車ディーラーより 43 台の車が集まり、現地の車不足を解消し、利用をお待ちいただいていた方へ車を届けることができました。愛媛県西予市では自らも被災しながら災害ボランティアセンターを運営する西予市社会福祉協議会にカーシェアリング車両の管理者となっただき、地域住民と社協で車をシェアする新しい貸出の形を構築しました。社協が窓口となることで住民が借りに行きやすい状況をつくることができよう感じています。

今回の支援では今までにない質・量で無償貸し出し支援を行うことができました。その鍵となったのは、前述したような産官民の連携です。2019年1月17日、岡山県・自動車販売組合連合会岡山県支部・岡山県軽自動車協会と災害時の連携協定に調印しました。今後は災害が起きてからの対処療法に加え、災害が起きても困らない仕組みづくりを進めていきたいと考えております。

災害サポートレンタカー貸出件数 : 629件 新たに集まった車 : 87台
延べ参加ボランティア(現場、車両運搬)数 : 156名

2. 石巻市との防災連携

[寄付・助成：三菱電機株式会社、真如苑『shinjo プロジェクト』市民活動公募助成]

(1) 石巻市総合防災訓練(11月4日)

一般のEVユーザー、市内ディーラーにも参加し、電気自動車を活用した防災訓練を実施しました。今回は市内で展開している『コミュニティ・カーシェアリング』の災害時での意味合いを伝える意味を兼ねて「災害後の車を使った助け合い」をテーマにリーフレットの配布も実施しました。

実施地域 : 10箇所(前年度比:5ヵ所減少)
参加車両台数 : 15台(前年度比:5台減少)
訓練参加人数(概算) : 2,130人(前年度比:32%減少)

(2) 災害時における総合応援協定締結(8月10日)

防災訓練などの連携を重ねてきた結果、今期、自然災害発生時にスムーズな連携が行えるように石巻市と相互応援協定を締結することとなりました。当協会所有の電気自動車の非常用電源利用と避難所等でのスムーズなカーシェアリングの実施について相互応援すること等が盛り込まれた内容になっています。

■ 事務局

昨年度から引続き組織基盤強化を目標とし、専門家のアドバイスをいただきながら以下の活動を実施しました。

1. 学生整備プロジェクト

春と秋の2回、石巻専修大学 理工学部 機械工学科自動車工学コースの協力の下、タイヤ交換や日常点検を行う学生整備プロジェクトを行いました。本プロジェクトで使用したタイヤやホイールを始めとする用品は各メーカー様にご協賛いただきました。

・春の学生整備プロジェクト 実施日 : 4月11日、12日、13日
参加車両台数 : 62台 学生 : 33名参加(2、3、4年生)
・秋の学生整備プロジェクト 実施日 : 11月14日、15日、16日
参加車両台数 : 50台 学生 : 20名参加(3、4年生)

2. 労務 [助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム2017(9月まで)]

就業規則に沿って適切な運用に務めました。一定期間務めた有期職員がキャリアアップに挑戦できるキャリアアップ制度を活用し、1名のスタッフが正規職員になりました。

3. 会計 [助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム2017(9月まで)]

前年に引き続き、税理士の指導によりコンプライアンス確保を推し進めました。また、税理士報酬を補填する事業助成が当年度9月をもって終了しました。そのため、必要書類の確認など、法定事務の

執行体制も整えました。

4. 会員管理

顧客管理システムであるセールスフォースを導入しました。8月23日、24日にスタッフ5名が導入研修を受講しました。

5. 法人運営

6月21日に平成29年度の社員総会を実施し、その後、運営に必要な届出業務を行いました。

また、活動報告書である「道中記 vol.2」を発行し支援者約800名に郵送にてこれまでの活動の経過を報告しました。

毎月10日には経営会議を行い、内部共有や課題解決、など円滑な法人運営に務めました。

6. ファンドレイジング [助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム2018]

3月に開始したマンスリーサポーター制度（賛助会員）に次いで、10月から本格的にファンドレイジングの施策に関するコンサルティングを受け始めました。（協力：シンファンドレイジングパートナー）

7. 広報 [助成金：大和証券フェニックスジャパン・プログラム2018]

SNSを活用した情報発信を展開していくため、インスタグラム、LINEを開始しました。また、3月中の完成を目指し、現在ホームページのリニューアルに取り組んでいます。

新聞掲載：44件 その他冊子掲載：3件

TV・ラジオ放送：18件

■下記内容の取り組みを行いました

4月 春の学生整備プロジェクト開催

市長報告

5月 OPEN JAPAN・日本カーシェアリング協会合同活動報告会開催（神戸市/御影公会堂）

6月 日本カーシェアリング協会総会開催

「しんきんの絆」復興応援プロジェクト第5回助成完了報告会

7月 石巻エコEVカーシェアリング検討委員会全体会議開催

現地NPO 応援基金[特定助成] JT NPO 応援プロジェクト助成贈呈式出席

平成30年7月豪雨支援活動開始

第2回『コミュニティ・カーシェアリング』シンポジウム in 石巻開催

福島県浪江町コミュニティ・カーシェアリング視察受入れ

岡山県知事表敬訪問

8月 石巻市と災害時における相互応援協定を締結

復興庁主催「復興・創生インターン」学生受入れ

活動報告会開催（東京/日本財団ビル）

石巻市大門町地区で「大門町カーシェア会」発足

9月 寄付いただいた車両 通算300台突破

コンソーシアムハグクミ「とりあえずやってみよう大学」にて講義

宮城県丸森町コミュニティ・カーシェアリング視察受入れ

復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰事例集取材

- 10月 パキデサットコンサートを復興公営住宅でカーシェア会主催で開催（渡波/大門町/新西前沼）
石巻エコ EV カーシェアリング検討委員会幹事会議開催
大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2018 助成贈呈式出席
平成 30 年 7 月豪雨の支援活動に対して中国運輸局から『感謝状』授与
- 11月 石巻市総合防災訓練実施
災害支援報告（石巻/IRORI）
秋の学生整備プロジェクト開催
宮城県南三陸町コミュニティ・カーシェアリング視察受入れ
- 12月 東松島市にて大曲街づくり協議会会合にて活動紹介
鳥取県米子市・大山町にて活動紹介
岡山県岡山市で「小鳥の森カーシェア会」発足
岡山県美作市で「上山カーシェア会」発足
「とうほく NPO フォーラム in 気仙沼 2018」登壇
石巻市新立野地区で「新立野カーシェア会」発足
平成 30 年 7 月豪雨支援無料貸し出し支援終了

以上